

あゆみ年表 ～ 平成28年 ～

28. 1. 2 礼文島西方における火災船

トーゴ船籍の貨物船（総トン数293トン、乗組員8人（ロシア人7人、ウクライナ人1名））が礼文島スコトン岬から西約46kmにおいて火災を起こしていると通報を受け、巡視船れぶんを現場に向かわせた。現場に到着したれぶんは、8人をれぶんに移乗させ救助した。消火作業は難航し昼間については直接放水、夜間は密閉と冷却消火を実施し、1月9日に完全鎮火を確認した。



28. 4. 22 声問沖漁船転覆

漁船が転覆し2名が行方不明になっているとの情報を受け、巡視船もとうら、巡視艇きたかぜ、MA723、警察艇そうや、北海道漁業取締船北王丸、稚内救難所救助船5隻で捜索、警察艇そうやと稚内救難所救助船がそれぞれ行方不明者を発見、稚内救難所救助船により2名を引き上げ、救急車により病院へ搬送したが医師により2名とも死亡が確認された。

28. 8. 25 大規模排出油事故対策訓練

～サハリンプロジェクトに伴う大規模排出油事故に備えて～

稚内港末広ふ頭東岸壁及び同岸壁前面海域で稚内市、北海道開発局稚内開発建設部、北海道宗谷総合振興局、稚内警察署、稚内地区消防事務組合、道北地区沿岸海域排出油等防除協議会、石油連盟、第一管区海上保安本部、稚内海上保安部など8機関約80人が参加した。

訓練は宗谷海峡西口付近において、サハリン原油を満載した、10万トン級タンカーと貨物船が衝突、タンカーの積荷である原油21,000klが海上に流出し、二日後には稚内付近沿岸に漂着する見込みであると想定して行われた。

28.9.21 巡視船れぶん配属替に伴う出港式

巡視船れぶんは平成26年1月30日に稚内海上保安部に就役、これまで海難救助活動、利尻島・礼文島からの急患輸送任務等に当たってきたが、室蘭海上保安部に配属替となった。

式典は稚内海上保安部長の訓示、巡視船れぶん船長による出港挨拶、花束贈呈後、巡視船れぶんの出港を参加者一同で見送った。



28.10.4 日露洋上会談

稚内海上保安部長 及川 誠（おいかわ まこと）を団長とする日本側代表団は宗谷海峡洋上のロシア連邦保安庁サハリン州国境警備局警備艇船内において、サハリン州国境警備局アレクセイエフ調整部長を団長とするロシア側代表団との洋上会談を実施し、薬物・銃器の密輸及び密航事案、水産物の不法操業・不法取引事案の情報交換を行った。

28.12.11 巡視船りしり就役披露式

平成28年10月27日に稚内海上保安部に就役した巡視船りしりの就役披露式を武部衆議院議員（代理）、北海道宗谷総合振興局長、稚内市長、稚内商工会会頭、第一管区海上保安本部長、海上保安協会稚内支部長等をお迎えして執り行い、その後、巡視船りしり船内を見学した。

